

発生量・利用量推計方法

区 分	推計方法及び使用データ等	データ 年 次 (平成)	備考
① 家畜排せつ物	家畜頭羽数×排出原単位 ----- 畜産統計 排出原単位（畜産環境整備機構：平成 10 年）	20 年	使途は、畜産課資料 (平成 18 年)から推計
② 生ごみ	各市町村等の清掃工場で焼却される可燃ごみ中の生ごみ、事業系一般廃棄物中の食品廃棄物で民間事業者等に処理されているものをそれぞれ推計して総計とする。 ----- 平成 19 年度清掃の事業の現況と実績（資源循環推進課：平成 21 年） 農林水産統計「食品循環資源の再生利用等実態調査結果」（農林水産省：平成 21 年 3 月） 平成 19 年度商業統計調査（経済産業省） 平成 18 年度事業所・企業統計調査（総務省）	19 年	一部の使途は、農林水産省資料（平成 21 年）等から推計
③ 食品加工残さ	平成 21 年度第 8 次千葉県廃棄物処理計画の策定に係る基礎調査業務（環境生活部：平成 22 年 3 月） 農林水産統計「食品循環資源の再生利用等実態調査結果」（農林水産省：平成 21 年 3 月）	21 年	使途は、農林水産省資料（平成 21 年）等から推計
④ 廃食用油			
事業所系	農林水産統計「食品循環資源の再生利用等実態調査結果」（農林水産省：平成 21 年 3 月） ----- 平成 20 年度工業統計調査（経済産業省） 平成 19 年度商業統計調査（経済産業省） 平成 18 年度事業所・企業統計調査（総務省） 平成 21 年度第 8 次千葉県廃棄物処理計画の策定に係る基礎調査業務（環境生活部：平成 22 年 3 月）	19 年	使途は、農林水産省資料（平成 21 年）等から推計
一般家庭系	廃食用油発生量原単位×県人口 ----- 家庭からの廃食用油発生量原単位 (1.57kg／人・年) (前回調査値と同じ) 人口 (平成 20 年 10 月 1 日現在)	20 年	
⑤ 稲わら	生産販売振興課調査資料	20 年	
⑥ もみがら	生産販売振興課調査資料	20 年	
⑦ 野菜等非食部	収量（又は作付面積）×副産物係数 ----- 副産物係数（県農林総合研究センター） 野菜生産出荷統計、青果物生産出荷統計、 農林水産統計	20 年	すき込みの有無 ：野菜副産物係数 から

⑧ 果樹剪定枝	収量×副産物係数	20 年 21 年	
	副産物係数（県農林総合研究センター） 果樹生産出荷統計、 各結果樹面積、収穫量及び出荷量		
⑨ 下水汚泥	平成 19 年度下水道統計行政編（社団法人日本下水道協会）	19 年	別途、該当市町村へのアンケート結果も参考にした。
⑩ 農業集落排水汚泥	農村振興課資料（平成 21 年度） 発生汚泥量から推計	21 年	使途は、該当市町村へのアンケート結果から
⑪ 街路樹・都市公園・ 家庭剪定枝	○街路樹 道路種別ごとに推計	20 年 21 年	使途は、アンケート調査結果等から
	①県地域整備センターへのアンケート調査結果 ②国道・高速、一部市町村道 ：道路種別道路延長×緑化率×道路種別原単位 ①と②の総計とした。		
	○都市公園剪定枝 原単位×都市公園面積	21 年	
	県公園緑地課及び都市公園所管市町村への アンケート調査結果		
	○家庭剪定枝 可燃ごみ量×原単位	20 年	
	原単位：9.4%（ごみ組成割合）		
⑫ 道路・河川敷・都市公園刈草	○道路・河川敷刈草 県地域整備センターへのアンケート調査結果 ○都市公園刈草 県公園緑地課及び都市公園所管市町村への アンケート調査結果	21 年	使途は、アンケート調査結果等から
⑬ 林地残材	○主伐残材 （樹種別素材生産量）×（樹種別人工林面積） ×（地上部バイオマスの残存率：0.3）×（各生材比重）	2008	根の搬出はコスト的に困難なことから地上部のみを推計
	平成 20 年度千葉県森林・林業統計書 生材比重：スギ 0.81、ヒノキ 0.68、マツ 0.95、 広葉樹 0.89		
	○間伐残材 （県間伐未利用材積）×（県間伐面積）×（材積に対する地上部バイオマス比率：0.3）×（生材比重：0.81）	20 年	
	平成 20 年度千葉県森林・林業統計書		

⑭ ゴルフ場刈芝草	刈芝草発生面積×原単位	21 年	使途はアンケート調査結果から推計
	刈芝草発生面積：前回と同じ値を使用 原単位（各ゴルフ場から得られたアンケート結果より推計）		
⑮ 製材残材	残材発生量＝素材消費量－製材品出荷量	21 年	
	素材消費量・製材品出荷量（平成 21 年木材統計）		
⑯ 木材工業系残材	平成 17 年度木材需給報告書	17 年	
⑰ 建設発生木材	平成 22 年度建設副産物実態調査結果 （国土交通省）	20 年	使途は、建設副産物 実態調査から

<潜在資源>

① 間伐対象木	{(スギ 3-9 齢級蓄積) × (スギ生材比重 : 0.81) + (ヒノキ 3-9 齢級蓄積) × (ヒノキ生材比重 : 0.86)} × (間伐率 : 0.2) × (材積に対するバイ オマス比率 : 1.3) × 間伐未実施率 ----- 平成 20 年度千葉県森林・林業統計書	20 年	
② 被害木	○非赤枯性溝腐病 （被害林面積－被害林対策実施面積）×（単位 面積当たりのサンプスギ材積）×（生材比重） ×（材積に対する地上部バイオマス比率） ----- 平成 20 年度千葉県森林・林業統計書 サンプスギ地上部バイオマス比率（県農林総合 研究センター）	20 年	
	○まつくい虫被害 （被害材積）×（生材比重 : 0.97）×（材積に 対する地上部バイオマス比率 : 1.3）／（材積に 対する全バイオマス比率 : 1.5） ----- 平成 20 年度千葉県森林・林業統計書	20 年	
③ 利用可能な竹材	（市町村別竹林面積）×（平均蓄積量 : 50 t / ha）／（伐採周期 : 5 年） ----- 平成 20 年度千葉県森林・林業統計書	20 年	
④ ゴルフ場枯枝・枯木	樹林地帯面積×原単位 ----- 樹林地帯面積：前回と同じ値を使用 原単位（各ゴルフ場から得られたアンケート結 果より推計）	21 年	